

全5回 特別企画セミナー

佐賀藩好生館の 萌芽より近代医学に いたる先達の足跡

写真:「閑叟公と種痘の像」佐賀藩主鍋島直正公は、領民が種痘を恐れないように率先して実子に種痘を行い天然痘予防を普及させた。

講師

佐賀大学
地域学歴史文化研究センター
特命教授

青木歳幸 先生

1948年長野県生まれ、長野県高校教員
および信州大学・筑波大学非常勤講師
等を歴任後2006年から佐賀大学地域学
歴史文化研究センター教授。

2012年から同センター長。2014年から
佐賀大学特命教授となり現在に至る。
日本医史学会理事、洋学史学会元会長、
佐賀医学史研究会会長。

編著『天然痘との闘いIV—東日本の種痘』
(岩田書院、2023年)シリーズのほか共著
『佐賀医人伝』(佐賀新聞社、2018年)、
単著『佐賀藩の医学史』(佐賀大学地域
学歴史文化研究センター、2019年)同
『伊東玄朴』(佐賀城本丸歴史館、2014年)、
同『江戸時代の医学』(吉川弘文館、2012年)
など。

第
3
回

江戸時代の外科学の発達と 好生館での解剖

—人体を見る眼がどのように発達してきたか、
外科学の発達と解剖の知見の広がりからさぐる—

2024 4 / 10 水 17:30 ▶▶
18:30

第
4
回

日本薬事制度の成立に 好生館が果たした役割

—佐賀藩施薬局から近代司薬場の設立と
薬剤師制度の成立に関わった佐賀人—

2024 5 / 8 水 17:30 ▶▶
18:30

第
5
回

西洋医学教育の発達と 好生館の医学教育

—好生館蔵書・洋書・翻訳書などから好生館の
西洋医学教育の実態を紹介する—

2024 6 / 10 月 17:30 ▶▶
18:30

会場

多目的ホール
(佐賀県医療センター好生館)



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN